

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「自ら学び、仲間とまなび、自分の考えを表現できる児童の育成」

-計画的な学習指導による基礎・基本の徹底と、一人ひとりのよさを生かし伸ばす教育の推進-

＜本年度の学力向上策＞

◎校内研修の充実

今年度より行う国語科の研究では、基礎・基本の定着と表現力の向上を目指しており、市学習状況調査での課題となっている「読むこと」「書くこと」に関する力を伸ばすための取組を充実させていく。また、これまで培ってきた学習の中での「仲間との豊かなかかわり」を生かし、主体的・対話的で深い学びを展開することで、その効果が高まるようにする。

◎業前学習の計画的な推進

業前学習として15分間の「パワーアップタイム」を週1回設定し、国語の基礎・基本を習熟させる時間とする。内容を吟味し計画的に実施することで、市学習状況調査での児童の課題となっている力を養うようにする。

◎児童の意欲を高める学習形態の工夫

算数科において、全学年で少人数指導担当を配置し、TTや習熟度別指導・個別学習等の学習形態で児童の意欲を高めるとともに、学習室を有効活用し個々の支援を充実させることで基礎・基本の定着につなげる。

◎家庭・地域の教育力の活用

「家庭学習の手引き」を配付し、自主学習と読書の奨励等で家庭との連携を図る。また、保護者・地域ボランティアによる読み聞かせを年間指導計画に位置付けるとともに、学校図書館の利活用で児童の読書量を増やし、読解力や語彙力の向上に役立てる。

＜本年度の振り返り＞

○市学習状況調査の結果では、4年生以上の国語「話すこと・聞くこと」、中学年国語「書くこと」、算数「数量関係」において課題がみられた。「パワーアップタイム」での学習内容の精選と、校内研究と絡めた指導法の工夫改善を図り、児童の課題解決に向けて取り組んでいく。

○算数科では、少人数指導担当やスクールアシスタントの適切な配置により、授業での個々に対するきめ細やかな対応ができた。学習室の効果的活用をさらに進め、多様な学習形態による指導の充実を図る。

○保護者・地域人材との連携により読書に対する関心が高まり、全校の読書量を増加させることができた。また、家庭との連携によって身に付いている学習習慣を、継続して養っていく。